

株主の皆様へ

第62期 中間期のご報告

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで



ミシン糸の総合メーカー

株式会社 **フジックス**

証券コード：3600

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第62期中間期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）における営業の概況と決算につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長

藤井 一郎

中間期の概要（連結） 先行きには懸念材料が多いものの、新たな国内連結子会社が加わったことや縫い糸市場の回復傾向で、当中間期は売上高が大幅に増加すると共に、利益面も改善傾向となりました。

当中間期におけるわが国経済は、政府による景気刺激策の効果などにより、緩やかな回復傾向を維持してきましたが、一方で米国経済の減速懸念、円高の進行や株価の下落などにより、再び国内景気の先行きに対する警戒感も強まり、今夏の記録的な猛暑や残暑の影響もあって、引き続き個人消費はまだら模様で、節約志向や低価格志向にも大きな変化が見られません。

縫い糸市場におきましては、日本向け衣料品の生産が日本、中国ともに昨年の最悪期を脱して回復傾向であったことから、縫い糸の受注も増加しましたが、夏場以降は、記録的な猛暑や残暑の影響もあって、衣料、手作りホビー両分野共に消費マインドは低下し、再び先行きが不透明な状況となりつつあります。

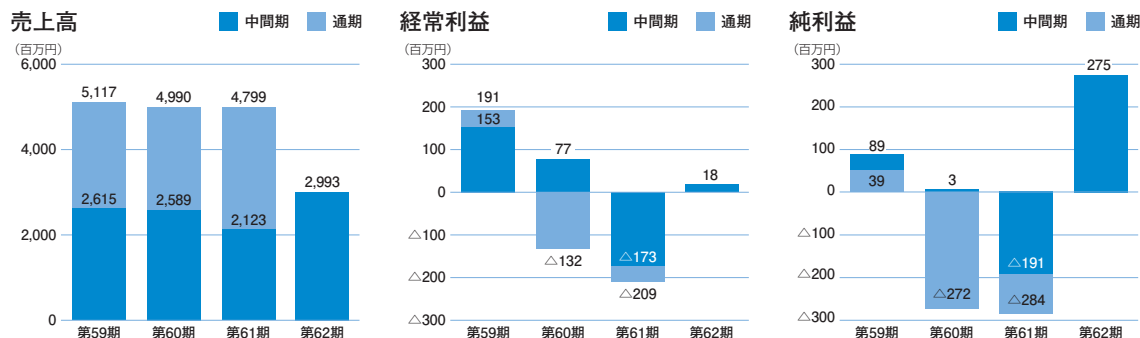
このような状況の中、当社グループは、昨秋加えた新たな国内連結子会社2社および中国の連結子会社4社と共に、ひたすら当社グループの取り組むべき課題を推進しております。

これらの結果、当中間期の売上高は、上述の国内連結子会社2社の売上高が加わったこともあり、2,993百万円（前年同期比41.0%増）となりました。

また利益面につきましては、一昨年実施した国内生産拠点統合に伴う生産設備の償却費負担や国内連結子会社で経費負担が引き続き大きいものの、当社および中国連結子会社における売上高の増加や工場操業度の上昇、経費の増加抑制、為替変動の影響による増益要因もあり、営業損失は、8百万円（前年同期は152百万円の損失）、経常利益は、18百万円（前年同期は173百万円の損失）となりました。

なお当中間期には、資産除去債務会計基準適用による影響額109百万円を特別損失に計上しましたが、一方で棚卸資産の評価方法の変更に伴う影響額356百万円を特別利益に計上したため、中間純利益につきましては、275百万円（前年同期は191百万円の損失）と大幅な増益となりました。

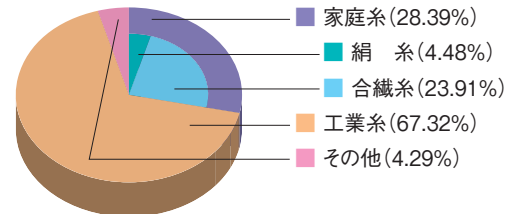
財務ハイライト



部門別売上高（連結）

部 門		金 額
家 庭 糸	絹 糸	134百万円
	合 織 糸	715百万円
小 計		849百万円
工 業 糸	合 織 糸	2,015百万円
そ の 他	原材料及び半製品	128百万円
合 計		2,993百万円

売上比率



家庭糸部門

国内の景気は緩やかな回復基調を維持してきましたが、雇用情勢や所得環境には大きな改善は見られず、消費者の節約志向や低価格志向は依然続いております。さらに夏場以降は、記録的な猛暑や残暑の影響もあり、手作りホビー関連商材は、消費マインドが低下し、全体として低調な状況が続いております。

このような中、当社グループは引き続き、国内シェアの拡大、需要の掘り起こし、中国や欧米など海外市場への販売拡大など、グループの中長期の課題に取り組んでおります。

これらの結果、当部門の売上高は、849百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

工業糸部門

中国においては、特に沿海部を中心とした大幅な労働賃金の上昇が縫製業にも波及しつつあり、労働集約型産業である縫製工場では人員確保が困難になっております。特に高品質・小ロット生産が要求される日本向け衣料品の生産はその影響を受けており、従来の中国を中心とした生産を日本および他のアジア諸国にシフトする動きも見られますが、縫製業全体としては、昨年の最悪期に比べて生産量が回復傾向にあるため、当社グループにおきましても日本・中国共に工業用縫い糸は受注増加傾向となりました。

また、新たに加わりました国内連結子会社2社の売上高は工業用縫い糸が主であることから、当部門の売上高は、2,015百万円（前年同期比56.4%増）と大幅に増加しました。

その他部門

当部門は、縫い糸半製品、手芸関連商品および縫製副資材の販売、外部からの委託加工による加工賃収入が主なものですが、新たに加わった国内連結子会社での加工賃収入および縫製副資材、縫い糸半製品などの販売が加わったことにより、当部門の売上高は、128百万円と前年同期比4倍を超える大幅な増加となりました。

今後の見通しと当社グループが取り組むべき課題

当面は懸念材料も多く事業環境も不透明ですが、将来を見据えて、引き続きグループをあげて中長期の課題に取り組んでまいります。

今後につきましては、引き続き消費者の節約志向や低価格志向など、円高、株安下での先行き懸念を背景とした個人消費の動向、改善が望まれる日中関係や中国における雇用環境と縫製業の動向など、当業界に影響を及ぼす諸要因はいずれも不透明で、当面事業環境の大幅な改善は期待できませんが、当社グループとしては、中長期的な事業環境について次のように考えております。

- ① ライフスタイルの多様化などにより、国内の手作りホビー分野におけるソーイング（縫い物）需要は近年漸減傾向が続いてきたものの、その一方、高齢化や格差社会を背景に、「ゆとり」や「和み」、あるいは個性化に伴う「オリジナリティー」が見直されつつある中で、中長期的にはソーイングを始めとする手作りホビーの潜在需要掘り起こしにより、国内の家庭用縫い糸の需要増加が期待できる。
- ② 欧米の既存の手作りホビー市場における当社のマーケットシェアがまだ極めて低いことや、経済と生活文化の発展が著しい中国大都市部や東南アジア諸国における手作りホビー需要の増加が期待できることから、将来的には家庭用縫い糸の海外市場における販売拡大が可能である。
- ③ 世界の縫製基地となった中国、あるいはアジア市場における工業用縫い糸（衣料用・非衣料用）のさらなる販売拡大の余地は言うまでもなく、海外への生産移転で縮小を余儀なくされている国内の縫製市場においても、機能性の高い製品の開発や徹底したサービスの充実・強化などにより、工業用縫い糸のシェア拡大が実現可能である。

当社グループは、このような中長期的な事業環境を見据えて、下記の諸課題に取り組んでおります。

- ① グループ化した連結子会社 株式会社FTCとともに、引き続き技術開発、製品開発に努めるとともに、生産や物流システムのさらなる改善により、コストダウンと納期短縮を始めとする顧客サービスの向上を徹底し、メーカーとしてさらなる総合力の強化を図ること。
- ② 中国の連結子会社における製造・販売の強化及び当社との連携強化により、世界の縫製基地となった中国縫製市場の開拓を一層推し進めること。
- ③ 今後、中国を始めアジア諸国での生産拡大が見込まれるカーシート用など非衣料用縫い糸についても、現地での生産および供給体制を整備すること。
- ④ 受注の減少傾向を余儀なくされてきた国内縫製市場においては、国内連結子会社2社との連携および体制を強化し、シナジー効果を発揮させて衣料用・非衣料用ともにさらなるシェア拡大を図ること。
- ⑤ 低迷している手作りホビーの国内市場に対して活性化のための提案を継続して、潜在需要の掘り起こしに努めるとともに、欧米・アジア諸国を中心に海外の手作りホビー市場のさらなる開拓に努めること。
- ⑥ 業界のリーディングカンパニーを目指すべく、経営体質の強化及び人材の育成と活性化を図ること。
- ⑦ 社会的信頼の維持はもとより、環境負荷の軽減を始め、企業としての社会的責任を果たすこと。

昨秋加わりました新たな国内連結子会社2社および中国連結子会社4社と連携し、今後もこれらの課題を迅速かつ着実に前進させて、グループとしての総合力を磨きながら業績のさらなる回復と将来の成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当中間連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度末(要約) (平成22年3月31日現在)	科 目	当中間連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度末(要約) (平成22年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	6,951,013	6,515,834	流動負債	807,989	755,294
現金及び預金	2,881,897	2,554,960	支払手形及び買掛金	386,278	321,404
受取手形及び売掛金	1,494,952	1,411,299	短期借入金	56,830	59,154
商品及び製品	1,189,762	1,201,769	未払法人税等	13,428	12,365
仕掛品	975,619	908,492	賞与引当金	65,076	65,798
原材料及び貯蔵品	357,842	373,643	その他	286,375	296,571
その他	69,864	87,798	固定負債	569,274	483,983
貸倒引当金	△ 18,924	△ 22,130	退職給付引当金	104,024	113,317
固定資産	2,975,505	3,228,452	役員退職慰労引当金	151,296	140,646
有形固定資産	1,655,783	1,766,637	資産除去債務	133,266	—
無形固定資産	82,074	92,351	その他	180,687	230,019
投資その他の資産	1,237,647	1,369,464	負債合計	1,377,263	1,239,277
投資有価証券	749,869	880,200	(純資産の部)		
その他	489,657	491,046	株主資本	8,195,684	8,009,411
貸倒引当金	△ 1,879	△ 1,782	資本金	923,325	923,325
資産合計	9,926,518	9,744,286	資本剰余金	758,014	758,014
			利益剰余金	6,619,930	6,433,605
			自己株式	△ 105,585	△ 105,533
			評価・換算差額等	51,381	162,447
			その他有価証券評価差額金	86,181	156,781
			為替換算調整勘定	△ 34,800	5,665
			少数株主持分	302,189	333,150
			純資産合計	8,549,255	8,505,008
			負債・純資産合計	9,926,518	9,744,286

連結損益計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当中間連結累計期間	前中間連結累計期間
	(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	2,993,967	2,123,003
売上原価	2,146,895	1,534,055
売上総利益	847,071	588,948
販売費及び一般管理費	855,409	741,286
営業損失	8,337	152,338
営業外収益	43,271	25,224
営業外費用	15,937	46,577
経常利益 (△は損失)	18,995	△ 173,692
特別利益	383,271	4,317
特別損失	111,879	1,019
税金等調整前中間純利益 (△は損失)	290,387	△ 170,394
法人税、住民税及び事業税	11,723	7,639
法人税等調整額	19,871	12,453
少数株主損益調整前四半期純利益	258,793	—
少数株主利益 (△は損失)	△ 16,399	813
中間純利益 (△は損失)	275,192	△ 191,300

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当中間連結累計期間	前中間連結累計期間
	(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	435,244	144,316
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,115	502,211
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 96,172	△ 88,880
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 16,382	17,829
現金及び現金同等物の増加額	326,804	575,477
現金及び現金同等物の期首残高	1,453,806	1,637,013
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,780,611	2,212,490

連結株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位：千円 千円未満切り捨て)

	株 主 資 本				評価・換算差額等				少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成22年3月31日残高	923,325	758,014	6,433,605	△ 105,533	8,009,411	156,781	5,665	162,447	333,150	8,505,008
中間連結累計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 86,178		△ 86,178					△ 86,178
従業員奨励及び福利基金繰入額			△ 2,689		△ 2,689					△ 2,689
中間純利益			275,192		275,192					275,192
自己株式の取得				△ 51	△ 51					△ 51
株主資本以外の項目の 中間連結累計期間中の変動額 (純額)						△ 70,599	△ 40,466	△ 111,065	△ 30,961	△ 142,026
中間連結累計期間中の変動額合計			186,324	△ 51	186,273	△ 70,599	△ 40,466	△ 111,065	△ 30,961	44,246
平成22年9月30日残高	923,325	758,014	6,619,930	△ 105,585	8,195,684	86,181	△ 34,800	51,381	302,189	8,549,255

会社の概要

(平成22年9月30日現在)

事業内容

当社グループは、アパレル縫製用及びホームソーイングを始めとする手作りホビー用の縫い糸・刺しゅう糸並びに各種糸の製造、販売を主たる事業としております。また、これらの原材料及び半製品の販売並びに手芸関連商品及び縫製副資材等の販売も行っております。

創業	大正10年（1921年）3月
設立	昭和25年（1950年）1月
資本金	923,325,000円
従業員数	158名 *パート22名を含む（連結422名）
事業所	

本社	管理部・営業本部・研究開発室	京都市北区
東京支店	営業部・物流センター	東京都台東区
滋賀事業所	生産部・物流センター	滋賀県東近江市

連結対象子会社

株式会社 F T C	（生産子会社）	京都 東京 三重 岐阜 福井）
株式会社 シオン	（販売子会社）	秋田）
上海富士克制線有限公司	（生産子会社）	上海）
上海富士克貿易有限公司	（販売子会社）	上海）
富士克國際（香港）有限公司	（販売子会社）	香港）
上海新富士克制線有限公司	（販売子会社）	上海 大連 南通 広東 南京 寧波 青島 北京）

役員

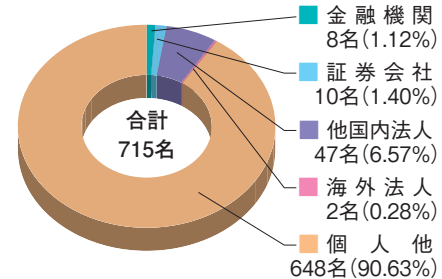
(平成22年9月30日現在)

代表取締役社長	藤井 一郎	
常務取締役	松岡 繁生	営業本部長
取締役	森川 幸俊	生産部長
取締役	山本 和良	管理部長
取締役	森川 昌治	営業本部長代行兼西日本営業部長
常勤監査役	高橋 篤	
監査役（社外）	工藤 雅史	弁護士
監査役（社外）	中村 利雄	弁護士

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数	19,945,000株
発行済株式の総数	7,340,465株
株主数	715名
大株主	

株式分布状況



株主名	持株数	出資比率
藤井幸二	725千株	10.52%
藤井多鶴子	717	10.40
藤井眞津子	391	5.67
小原京子	382	5.54
森本町子	328	4.76
鈴木直子	328	4.76
藤井一郎	293	4.25
藤井太郎	200	2.90
フジックス社員持株会	186	2.70
(株)三井住友銀行	184	2.68

(注) 当社は、自己株式446千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	(1) 定時株主総会・期末配当金 3月31日 (2) 中間配当金の支払いを行うとき 9月30日

定時株主総会
単元株式数
毎年6月
1,000株

株主名簿管理人
及び特別口座の
口座管理機関
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所
〒540—8639 大阪市中央区北浜4丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物の送付先
及び照会先
〒183—8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)
電話 0120—176—417
(URL)
<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
公告方法
電子公告としております。

証券銘柄コード
公告アドレス <http://www.fjx.co.jp> (当社ホームページ)
3600

【株式に関する住所変更等のお届け及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様の住所変更等のお届け及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願い致します。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡下さい。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(証券保管振替機構)を利用されなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設致しました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届けは、上記の電話照会先をお願い致します。

最近のトピックス

●「OSAKA 手づくりフェア2010」に出展しました

9月3日～4日、マイドームおおさかで開催された「OSAKA 手づくりフェア2010」に出展致しました。絹糸で絵を描く新しいクラフトSilk Thread Art (STA) のデモンストレーションや体験講習等を行い、多くの方たちに関心をもって頂きました。



●「2010 世界キルト芸術展」を開催しました

11月12日～14日、上海マート（上海世貿商城）にて「2010 世界キルト芸術展」を開催致しました。日本や海外のキルト作品の展示、パッチワークの体験講習、ミシンのデモンストレーション、関連商品の販売などを行い、中国のキルト愛好家の方たちに楽しんで頂きました。



製品情報

キングスター家庭用を増色

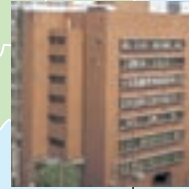
レーヨン糸を上回る光沢と深みのある色合いのキングスター家庭用ミシン刺しゅう糸を、各ミシンメーカー取扱い色に対して対応可能な272色に増色しました。刺しゅうの他に、色数・光沢を活かしてミシンキルトの飾り縫い用などとしても提案しています。



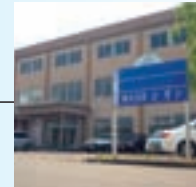
フジックスグループNetwork

★営業部門

●生産部門



当社東京支店
(株)FTC東京支店



(株)シオン

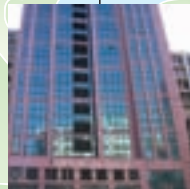


上海富士克制線有限公司

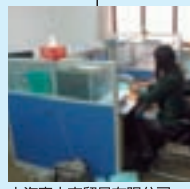


上海新富士克制線有限公司

大連分公司
南通事務所
広東事務所
南京事務所
寧波事務所
青島事務所
北京事務所



富士克國際(香港)有限公司



上海富士克貿易有限公司

★北京

★大連

★青島

★南京

★南通

★上海

★寧波

★広東

★香港

★横手

★東京

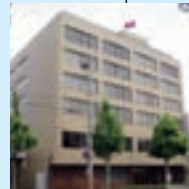
★福井

★京都

★滋賀

★四日市

★岐阜



当社本社
(株)FTC
東京支店
三重事業所
岐阜事業所
福井営業所



当社滋賀事業所(工場・物流センター)

当社ホームページのご案内

財務情報をはじめとした会社案内や会社情報、製品情報、様々なアイテムの簡単な作り方を紹介する「かんたんソーイングレシピ」、糸の種類や選び方をわかりやすく解説する「糸の基礎知識」など様々なコンテンツをご用意しております。是非ご覧ください。

<http://www.fjx.co.jp/>



会員制コミュニティーサイト『できるよ.com』のご案内
できるよ.comは会員制のコミュニティーサイトで、会員同士の情報交換や自分の作品を掲載できるページ、また、初心者でも簡単に様々なアイテムが作れる“手作りお助けソフト「Fデザイン」”を無料でダウンロードできます。

会員の皆様には、京都の観光・グルメ情報など「京都よもやま通信」をメール配信しております。

<http://www.dekiruyo.com/>

